

【目次】

1. 労使関係研究協会が労働講座を開く、4月24日！
2. 友愛会館の「つつじを楽しむ会」が開かれました、4月23日～25日！
3. 吉野作造記念館の企画展「働く人の権利」（2018.5.27～8.5）に協力！
4. NPO法人・働く文化ネットの労働映画鑑賞会が開かれる、4月12日！
5. 連載「日本労働会館物語」第73回一戦前期、労働者の利益を守った男 その1—

1. 労使関係研究協会が労働講座を開く、4月24日！



友愛労働歴史館の兄弟組織である労使関係研究協会（小出幸男会長）は4月24日（火）午後、友愛労働歴史館研修室において第86回講演会を開催しました。講師は兵庫県立大学大学院の中沢孝夫客員教授で、テーマは「働き方改革の真贋・処遇の同一と格差（組織能力形成のプロセスを考える）」。講演会には労使研会員など約40名が参加し、約1時間半の講演を受けました（詳細は略）。なお、講演会の司会進行を滑川太一労使研事務局長が務め、日本労働会館の徳田孝蔵副理事長が開会挨拶を行いました。

2. 今年の友愛会館「つつじを楽しむ会」は4月25～27日！



友愛労働歴史館が入居している友愛会館（旧ユニテリアン教会・唯一館）の屋上にはつつじが植栽されており、毎年、期間限定で開放されています。今年の「つつじを楽しむ会」は、4月23日（月）～25日（水）12：10～13：10で行われました。

友愛会館屋上から都心方向を見ると屋上のつつじ越しに東京タワーや芝増上寺が見え、反対側に目を転じれば東京湾に架かるレインボーブリッジ（写真参照）などを見ることができます。富士山は生憎の曇り空のため見えませんでした。

3. 吉野作造記念館の企画展「働く人の権利」（2018.5.27～8.5）に協力、4月19日！

吉野作造記念館（宮城県大崎市古川）は5月27日から企画展「働く人の権利を求めて」（2018.5.27～8.5）を開催しますが、友愛労働歴史館はこれに協力しています。4月19日（木）午後、吉野作造記念館の担当者が当歴史館に来館され、企画展で使用する当館所蔵資料について貸与の打ち合わせを行いました。

現代の日本社会では働くひとの権利や、働き方が問題になっています。しかし、このような問題は近代的な産業社会が始まった明治・大正の時代に遡ることができます。吉野作造記念館の企画展「働く人の権利を求めて」は、非正規雇用やワーキングプアなどの問題を明治・大正の時代に遡り、吉野作造や鈴木文治・松岡駒吉らを取り上げ、今日に至る「働く人の権利」の歴史を紹介する予定です。

4. NPO 法人・働く文化ネットの労働映画鑑賞会が開かれました、4月12日！

NPO 法人・働く文化ネットが毎月第2木曜日に開催している労働映画鑑賞会が4月12日夜、連合会館会議室で開催されました。今回の映画は、江戸時代から数えて145年、7代にわたり精肉店を営んできた一家の仕事と暮らしを追ったドキュメンタリー『ある精肉店のはなし』(2013年、カラー108分)。次回は5月10日(木)18:00～、「NHK 特集名作百選—蒲田・町工場物語」です。

5. 連載「日本労働会館物語」第73回—戦前期、労働者の利益を守った男・松岡駒吉 その1—

今回の「日本労働会館物語」は戦前期、総同盟を率いて労働運動に挺身した松岡駒吉(1888.4.8～1958.8.14)を取り上げます。これは当歴史館が7月から開催する企画展「戦前期、ひとすじに労働者の利益を守った男—松岡駒吉」(2018.7.6～12.21)を意識したものです。



松岡駒吉は総同盟会長や全織同盟会長などを務めた生粋の労働運動家、クリスチャンで、「戦前のきわめて困難な時代にただ一筋に現実の労働者の利益を守るために、地道な努力をつづけてきた人物」(『松岡駒吉伝』)とされています。

今年は松岡駒吉の生誕130年・没後60年、そして松岡が主導した野田醤油争議から90年に当たります。企画展「松岡駒吉」はこれを記念したもので、同展で松岡駒吉の70年の生涯を紹介するとともに、労働者の利益を守るために松岡駒吉が実践した現実主義労働運動について解説する予定です。

「松岡駒吉」展の構成(三部)

1. 松岡駒吉の生涯—1888年4月8日～1958年8月14日—
クリスチャン、労働運動家、政治家として生きた70年の生涯
2. 野田醤油争議とその教訓—野田争議から90年—
 - ①松岡駒吉が主導した野田醤油争議(1927.09.25～1928.04.20)
 - ②野田醤油争議の教訓と松岡駒吉
 - ③「産業人」論と「健全なる労働組合主義」の確立
3. 労働者の利益を守る現実主義労働運動の実践
 - ①革命主義と闘い、労働組合主義を確立
総同盟第一次分裂 1925(大正14)年
 - ②団体協約締結運動の展開—非合法の時代に労働組合を認めさせる—
東京製綱での団体協約締結 1928(昭和3)年
 - ③日本労働会館建設と共済事業の展開
労働学校、共済事業(友愛病院、青雲荘、神楽坂食堂など)

「人間の尊厳、進歩と発達のために」

発行：友愛労働歴史館

責任者：徳田 孝蔵

担当者：間宮悠紀雄

〒105-0014 港区芝 2-20-12

友愛会館 8F

Tel.050-3473-5325

Eメール yuairedorekishikan@rodokaikan.org HP <http://www.yuairedorekishikan.com>

惟一館から124年、友愛会から106年
